



NEC Generative AI Appliance Server FC-S13G  
メンテナンス GUI マニュアル <2026. 6. 0>

第 1 版

2026 年 6 月

© NEC Corporation 2026

## 商標について

Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書のサンプル画像などで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書の内容および本書を使用した結果について明示的にも黙示的にも一切の保証を行いません。

© NEC Corporation 2026

改版履歴

版数	発行年月	改版内容	備考
初版	2026/06	初版	

# 目次

1	はじめに .....	6
2	概要 .....	7
3	接続方法について .....	8
4	画面について .....	9
4.1	ログイン画面 .....	9
4.2	画面共通項目 .....	11
4.3	設定バックアップ画面 .....	12
4.4	メンテナンスツール画面 .....	15
4.5	サーバ管理画面 .....	19
5	使用手順 .....	20
5.1	ログイン .....	20
5.2	バックアップ・リストア .....	21
5.3	バックアップ実行設定 .....	28
5.4	メンテナンスツール .....	33
5.5	サーバ管理 .....	36
5.6	ログアウト .....	38
6	諸元 .....	39
6.1	バックアップ対象の設定一覧 .....	39
6.2	バックアップファイル仕様 .....	42
6.3	バックアップ・リストア状態表示一覧 .....	43
6.4	メンテナンスファイル仕様 .....	44
6.5	メンテナンスツール状態表示 .....	44
7	メッセージリファレンス一覧 .....	45
7.1	ログイン画面 .....	45
7.2	設定バックアップ画面 .....	46
7.3	メンテナンスツール画面 .....	48
7.4	サーバ管理画面 .....	50
8	注意事項 .....	51
8.1	メンテナンス GUI 共通項目 .....	51
8.2	設定バックアップ .....	51
8.3	メンテナンスツール .....	53
8.4	サーバ管理 .....	53
9	参考 .....	54
9.1	ポート番号を変更する .....	54

---

# 1 はじめに

本書は、『メンテナンス GUI バージョン 2026.6.0』を使用するための手順を記載したものです。

操作を行う場合は、メンテナンス GUI への接続は 1 端末のみで行ってください。複数端末からの同時接続は推奨していません。

また、『メンテナンス GUI バージョン 2026.6.0』は以下の機種に対応しています。

- NEC Generative AI Appliance Server FC-S13G

---

## 2 概要

メンテナンス GUI では、GUI を使用した以下の操作が可能です。

- バックアップの取得

Generative AI FW 設定を.tar.gz 形式のファイルとしてバックアップを取得することができます。また、設定を変更することで、定期的なバックアップの取得が可能です。バックアップはフルバックアップ形式となります。

- リストアの実行

取得したバックアップファイルを用いて、Generative AI FW 設定のリストアを実行することができます。

- メンテナンスツール

メンテナンスファイルを用いて、Generative AI FW の保守・管理を行うことができます。

- サーバ管理

アプライアンスサーバの再起動またはシャットダウンが実行できます。

---

## 3 接続方法について

メンテナンス GUI は、アプライアンスサーバとクライアントマシンが互いに通信可能な状態であれば、Generative AI FW で使用している既存のネットワーク設定で利用できます。

- 既定では Web ブラウザで「[https://\[アプライアンスサーバの IP アドレス\]:20531/login](https://[アプライアンスサーバの IP アドレス]:20531/login)」に接続するとログイン画面にアクセスできます。詳しくは以下を参照してください。

「5.1 ログイン」

- メンテナンス GUI で使用するポート番号を変更する場合は、以下を参照してください。

「9.1 ポート番号を変更する」

---

## 4 画面について

メンテナンス GUI で表示される各画面の項目について記載します。

### 4.1 ログイン画面

クライアントマシンから Web ブラウザで以下の URL に接続します。

- `https://[アプライアンスサーバの IP アドレス]:[ポート番号]/login`

既定のポート番号設定の場合、以下の URL に接続してください。

- `https:// [アプライアンスサーバの IP アドレス]:20531/login`

※HTTPS に既定では自己証明書を使用しています。その場合、接続の際に「この接続ではプライバシーが保護されません」と注意が表示されますが、問題ありませんので接続してください。

各項目の内容は以下の通りです。

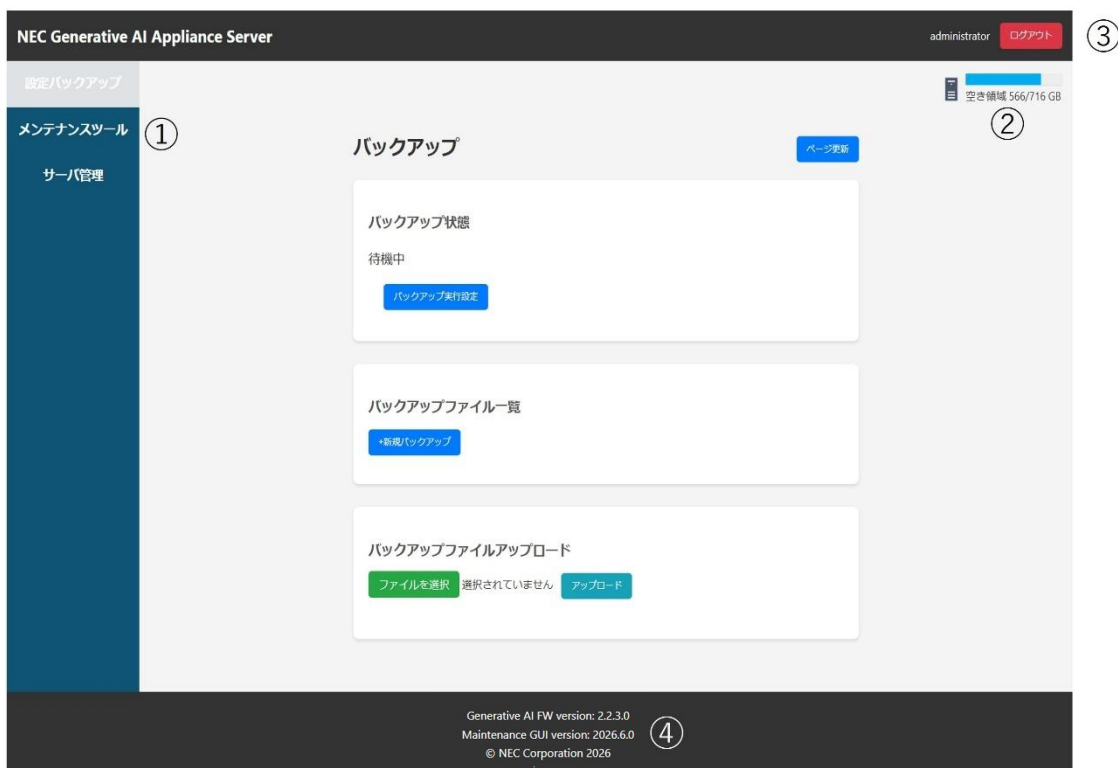


項番	項目名	内容
①	ユーザ名入力欄	ログインに使用するユーザ名を入力します。 アプライアンスサーバの <b>administrator</b> ユーザのみログインが可能です。
②	パスワード入力欄	ログインに使用する <b>administrator</b> ユーザのパスワードを入力します。
③	ログインボタン	入力したユーザ名/パスワードを使用してユーザ認証を行います。

---

項番	項目名	内容
④	ログインエラー表示	入力したユーザ名/パスワードを使用したユーザ認証に失敗した場合に表示されます。

## 4.2 画面共通項目



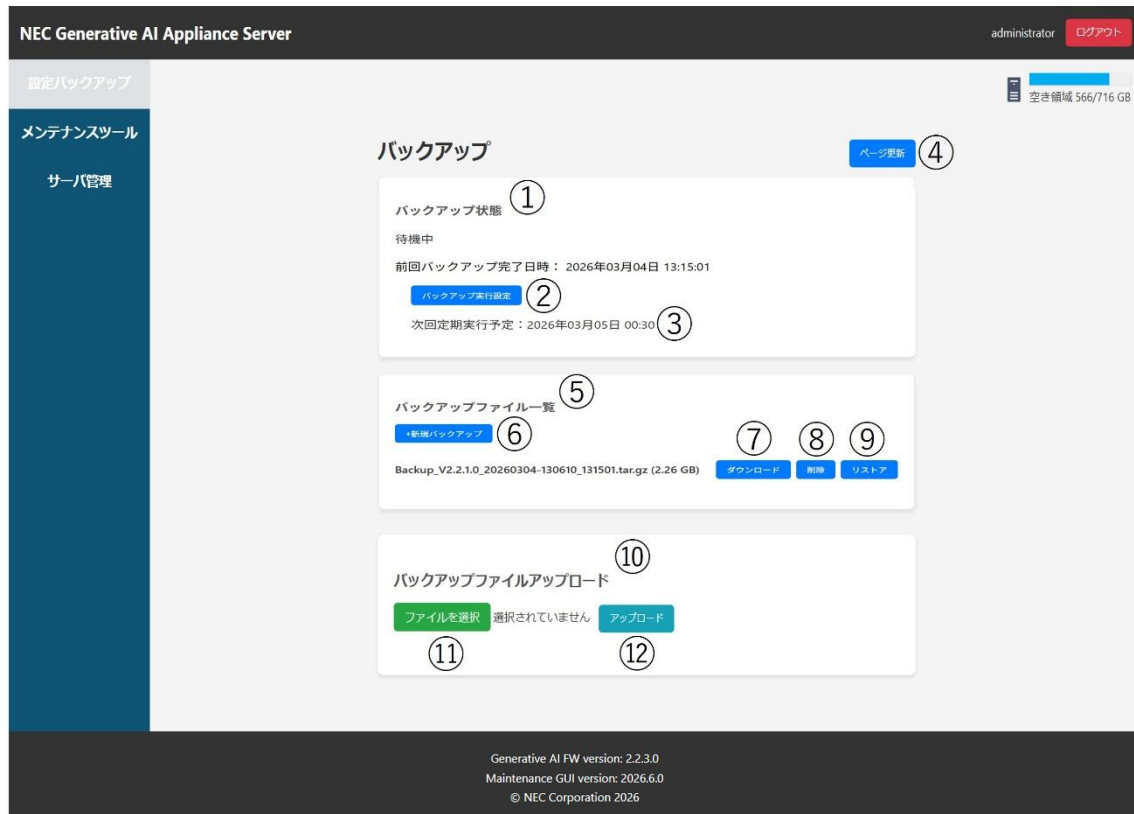
項番	項目名	内容
①	サイドバー	表示されている各項目を選択することで、それぞれに対応するページへ移動することができます。ログイン直後は「設定バックアップ」が選択された状態です。
②	サーバ空き容量表示	アプライアンスサーバのルートパーティションの空き容量が表示されます。
③	ログアウトボタン	ログアウトを行い、ログイン画面に遷移します。
④	バージョン表示	<b>Generative AI FW</b> とメンテナンス <b>GUI</b> のバージョン情報が表示されます。

## 4.3 設定バックアップ画面

設定バックアップ画面は、メンテナンス GUI にログインすることで表示されます。

各項目の内容は以下の通りです。

### ■ 設定バックアップ画面



項番	項目名	内容
①	バックアップ・リストア状態表示	バックアップ・リストア実行状態により、「待機中」「バックアップ実行中」「リストア実行中」「リストア実行終了(再起動待機中)」「ファイルアップロード中」の5種類が表示されます。 「待機中」の場合、前回のバックアップ、またはリストアが完了した日時が表示されます。 「バックアップ実行中」の場合、バックアップ開始日時が表示されます。 エラーが起きた場合は、バックアップ・リストア状態表示の下部に、エラーメッセージが表示されます。
②	バックアップ実行設定ボタン	押下するとポップアップでバックアップ実行設定画面が表示されます。
③	次回定期実行予定表示	定期実行を設定している場合に、次回のバックアップ実行予定日時

項番	項目名	内容
		が表示されます。
④	ページ更新ボタン	設定バックアップ画面のページを更新行います。
⑤	バックアップファイル一覧	バックアップ実行機能を使用して取得したバックアップファイル、またはバックアップファイルアップロード機能を使用してアップロードしたバックアップファイルのファイル名が一覧に表示されます。
⑥	新規バックアップ実行ボタン	バックアップを実行し、新規バックアップファイルを取得します。
⑦	バックアップファイルダウンロードボタン	バックアップファイル一覧に表示されたバックアップファイルをクライアントマシンのローカルにダウンロードします。
⑧	バックアップファイル削除ボタン	バックアップファイル一覧に表示されたバックアップファイルをアプライアンスサーバから削除します。
⑨	リストア実行ボタン	アプライアンスサーバ内のバックアップファイルを使用して、リストアを実行します。
⑩	バックアップファイルアップロード機能	クライアントマシンのローカルからバックアップファイルをアップロードします。
⑪	ファイル選択ボタン	クライアントマシンのローカルからアップロードするバックアップファイルを選択できます。 デフォルトでは拡張子が <b>.tar.gz</b> のファイルのみ表示され、ファイルは1個のみ選択が可能です。
⑫	アップロードボタン	ファイル選択ボタンで選択したファイルをアプライアンスサーバ上にアップロードします。

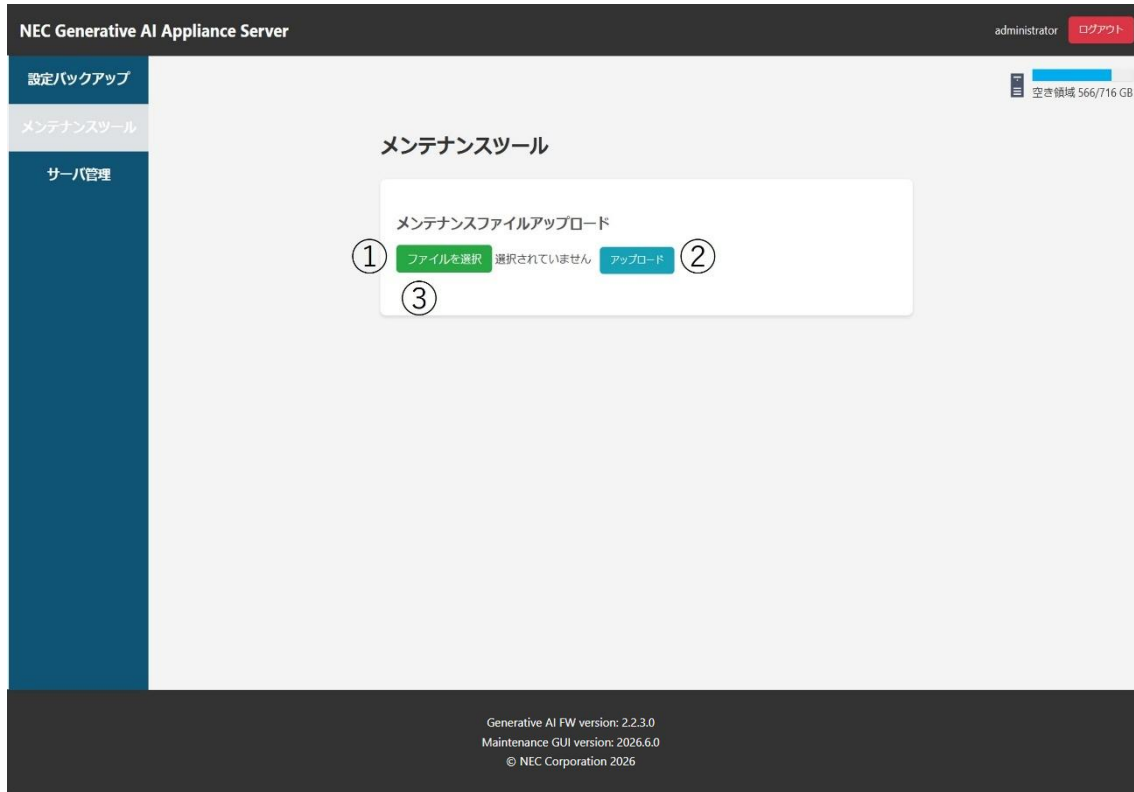
■ バックアップ実行設定画面

設定バックアップ画面のバックアップ実行設定ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。

項番	項目名	内容
①	バックアップファイル保持数設定	アプライアンスサーバ内に保持するバックアップファイルの個数を設定できます。
②	定期実行設定	バックアップ定期実行に関する設定(設定オン/オフ、実行時間、実行頻度)を行います。
③	決定ボタン	バックアップ実行設定を保存し、バックアップ実行設定画面を閉じます。
④	キャンセルボタン	バックアップ実行設定をキャンセルし、バックアップ実行設定画面を閉じます。
⑤	エラー表示	「決定」ボタン押下時に設定不備があった場合、エラーが表示されます。

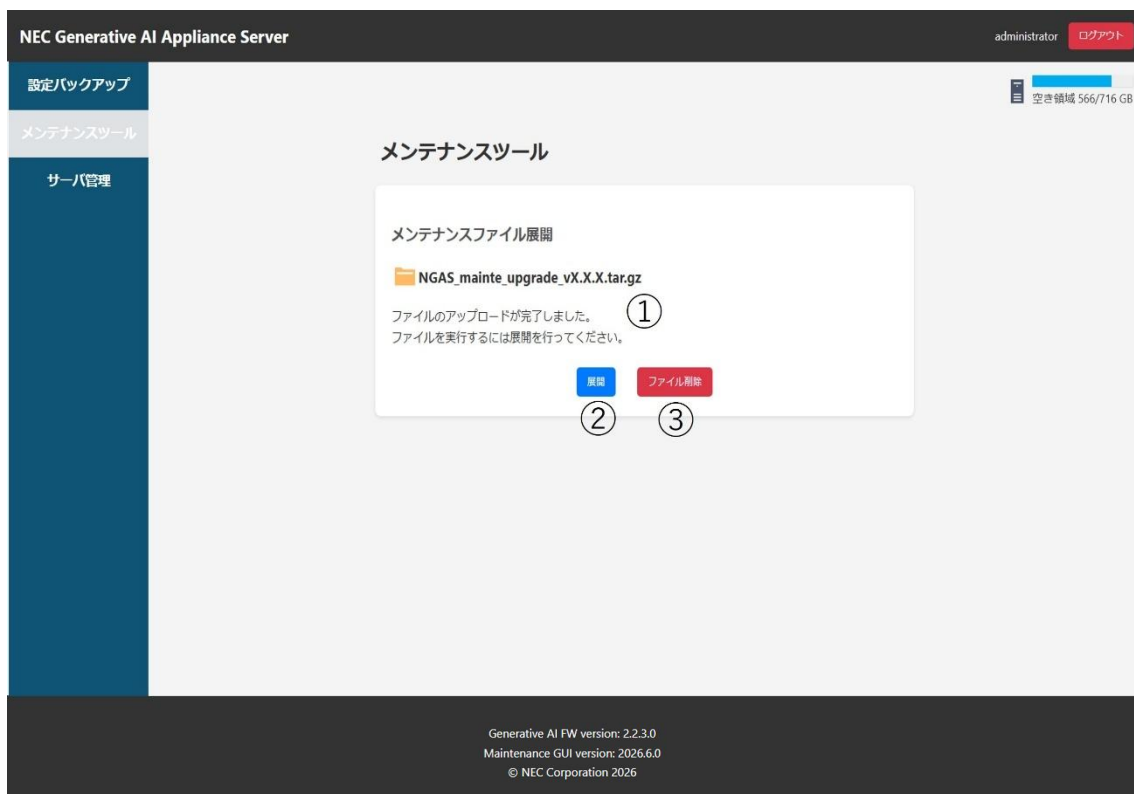
## 4.4 メンテナンスツール画面

### 4.4.1 メンテナンスファイルアップロード画面



項番	項目名	内容
①	ファイル選択ボタン	クライアントマシンのローカルからアップロードするメンテナンスファイルを選択できます。 デフォルトでは拡張子が <b>.tar.gz</b> のファイルのみ表示され、ファイルは1個のみ選択が可能です。
②	アップロードボタン	ファイル選択ボタンで選択したファイルをアプライアンスサーバ上にアップロードします。
③	アップロード状態表示	アップロードの状態がメッセージで表示されます。

## 4.4.2 メンテナンスファイル展開画面



項番	項目名	内容
①	ファイル展開状態表示	メンテナンスファイルの展開状態がメッセージで表示されます。
②	ファイル展開実行ボタン	アップロードしたファイルの展開を実行します。
③	アップロードファイル削除ボタン	アップロードしたファイルを削除します。

### 4.4.3 メンテナンスファイル実行画面

NEC Generative AI Appliance Server administrator ログアウト

設定バックアップ

メンテナンスツール

サーバ管理

メンテナンスツール

メンテナンス実行

NGAS\_mainte\_upgrade\_vX.X.X.tar.gz ①

本ツールはGenerative AI FWのアップデートを行うツールです。

以下のパラメータを指定して実行してください。 ②

keycloak パスワード \*

実行 ③

ファイルの実行が完了しました。(実行完了日時: 2025年09月05日 02:38:06) ④

実行ステータス ⑤

```
2025-09-05 02:38:01 [INFO] データ処理を実行中
2025-09-05 02:38:06 [INFO] データ処理が完了しました
2025-09-05 02:38:06 [INFO] アップデート完了
2025-09-05 02:38:06 Process completed. returncode=0
```

実行ログ取得 ⑥

メンテナンスファイル削除

展開したメンテナンスファイルを削除します。

ファイル削除 ⑦

Generative AI FW version: 2.2.3.0  
Maintenance GUI version: 2026.6.0  
© NEC Corporation 2026

項番	項目名	内容
①	メンテナンスファイル概要	メンテナンスファイルの概要が表示されます。
②	実行パラメータ入力欄	メンテナンスファイルを実行する際に指定するパラメータを入力します。入力欄は実行するファイルが必要とするパラメータ数に応じて表示されます。
③	ファイル実行ボタン	アップロードしたメンテナンスファイル内の実行ファイルを実行します。
④	ファイル実行状態表示	メンテナンスファイルの実行状態が表示されます。
⑤	ファイル実行ステータス	メンテナンスファイルの実行ステータスが表示されます。
⑥	実行ログ取得ボタン	メンテナンスファイル実行時のログをクライアントマシンのローカルにダウンロードします。
⑦	メンテナンスファイル削除ボタン	展開済みのメンテナンスファイルを削除します。

## 4.5 サーバ管理画面

The screenshot shows the 'サーバ管理' (Server Management) page in the 'NEC Generative AI Appliance Server' maintenance GUI. The page title is 'サーバ管理'. On the left, there is a navigation menu with '設定バックアップ', 'メンテナンスツール', and 'サーバ管理'. The main content area is titled '電源操作' (Power Operation) and contains the following text: 'アプライアンスサーバの電源操作を行います。他の処理が実行中の場合も電源操作は強制的に実行されます。' (Perform power operation on the appliance server. Power operation is forced to be executed even if other processing is in progress). Below this text are three numbered steps: ① 'シャットダウン' (Shutdown), ② '再起動' (Restart), and ③ '強制的に電源操作が行われることを理解しました。' (I understand that power operation will be performed forcibly). There are buttons for 'シャットダウン' and '再起動'. At the bottom of the page, the version information is displayed: 'Generative AI FW version: 2.2.3.0', 'Maintenance GUI version: 2026.6.0', and '© NEC Corporation 2026'.

項番	項目名	内容
①	シャットダウンボタン	アプライアンスサーバのシャットダウンを実行します。 ③にチェックを入れることで操作できます。
②	再起動ボタン	アプライアンスサーバの再起動を実行します。 ③にチェックを入れることで操作できます。
③	電源操作確認	チェックを入れると①②の操作が可能になります。

---

## 5 使用手順

### 5.1 ログイン

1. クライアントマシンからWebブラウザで以下のURLに接続します。

- `https://[アプライアンスサーバのIPアドレス]:[ポート番号]/login`

既定のポート番号設定の場合、以下のURLに接続してください。

- `https:// [アプライアンスサーバのIPアドレス]:20531/login`

※HTTPS に既定では自己証明書を使用しています。その場合、接続の際に「この接続ではプライバシーが保護されません」と注意が表示されますが、問題ありませんので接続してください。

2. ユーザ名とパスワードを入力して、ログインボタンを押下します。

※アプライアンスサーバの **administrator** ユーザのみログインが可能です。



The image shows a login form with a red border. It contains two input fields: 'ユーザー名' (User name) and 'パスワード' (Password). Below the fields is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

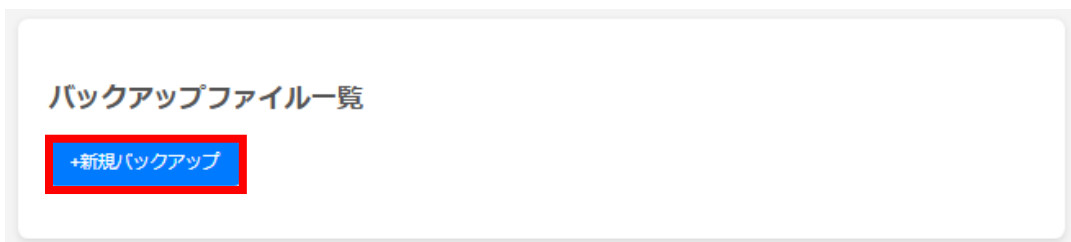
---

## 5.2 バックアップ・リストア

あらかじめ「5.1 ログイン」を参照してログインを行った状態で、本手順を実施してください。

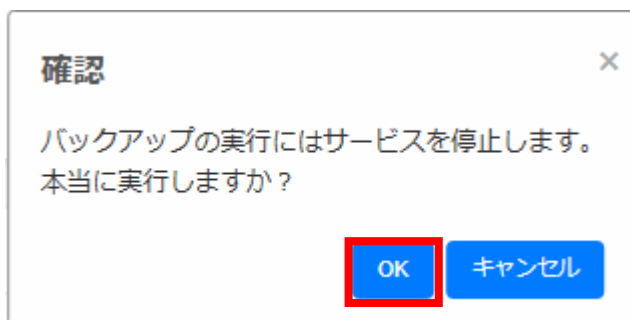
### 5.2.1 新規にバックアップを実行する

1. 設定バックアップ画面の新規バックアップボタンを押下します。

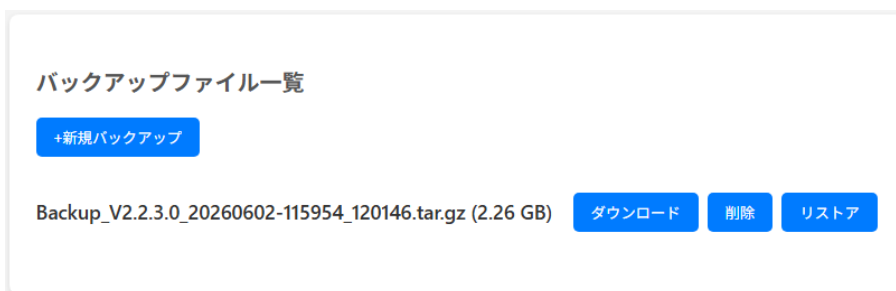


2. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。

※バックアップ実行中は、サービスが停止します



3. バックアップが開始すると、バックアップ・リストア状態表示に「バックアップ実行中」と表示されます。(完了目安:10分)
4. バックアップが完了すると、バックアップファイル一覧情報に、作成されたバックアップファイルが表示されます。



バックアップファイル名の形式は以下を参照してください。

「6.2 バックアップファイル仕様」

---

バックアップファイルは定期的に取得・安全に保管してください。

以下の手順で定期実行の設定が可能です。

「5.3.2 バックアップの定期実行を設定する」

---

また、作成したバックアップファイルは速やかにダウンロードして、アプライアンスサーバからは削除することを推奨します。以下の手順を参照してください。

「5.2.2 バックアップファイルをダウンロードする」

「5.2.3 バックアップファイルを削除する」

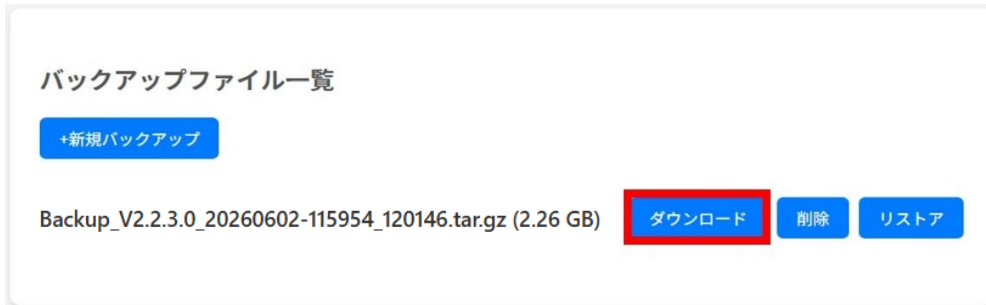
---

---

## 5.2.2 バックアップファイルをダウンロードする

アプライアンスサーバ内のバックアップファイルを、クライアントマシンのローカルにダウンロードすることができます。

1. バックアップファイル一覧から、対象ファイルのダウンロードボタンを押下します。



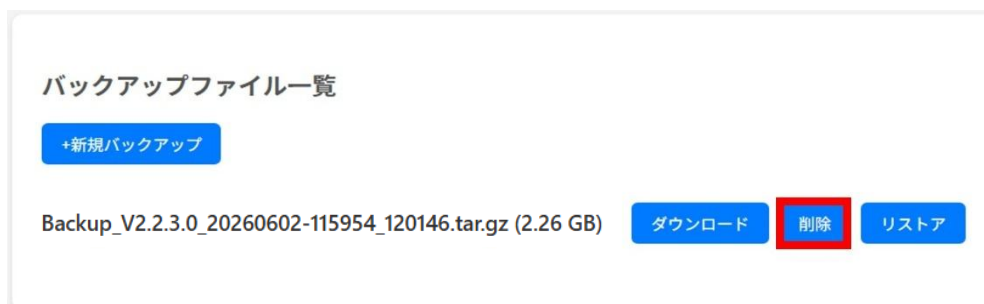
2. クライアントマシンのローカルのフォルダに、対象ファイルがダウンロードされます。

---

## 5.2.3 バックアップファイルを削除する

アプライアンスサーバ内のバックアップファイルを削除することができます。

1. バックアップファイル一覧から、対象ファイルの削除ボタンを押下します。



2. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。



3. アプライアンスサーバ内からバックアップファイルが削除されます。

## 5.2.4 バックアップファイルをアップロードする

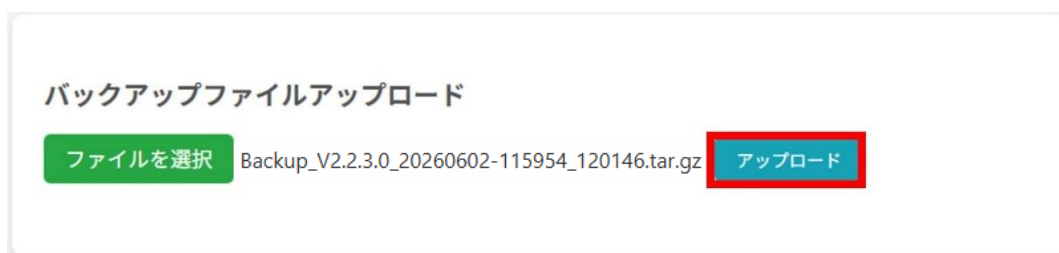
クライアントマシン内のバックアップファイルを選択して、アプライアンスサーバ内にアップロードすることができます。

なお、リストアを目的としたアップロードの際には、アプライアンスサーバ内のバックアップファイルを全て削除してから、対象のファイルをアップロードすることを推奨します。

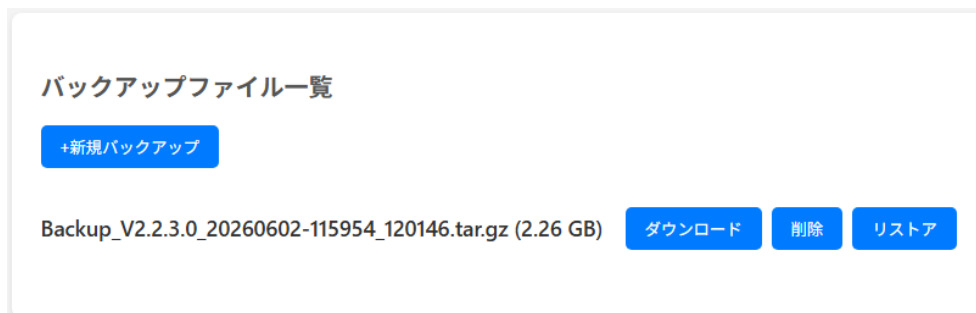
1. バックアップファイルアップロードから、「ファイルを選択」ボタンを押下します。



2. エクスプローラーが開くので、「.tar.gz」の拡張子を持つファイルを選択します。
3. 2で選択したファイルが表示されていることを確認して、アップロードボタンを押下します。



4. ファイルアップロード中は、バックアップ・リストア状態表示に「ファイルアップロード中」と表示されます。  
※メンテナンス GUI はログイン後 24 時間で自動的に切断されます。この時間内にアップロードが完了していない場合、エラーが発生しますのでご注意ください。
5. ファイルがアップロードされ、バックアップファイル一覧にアップロードしたファイルが表示されま



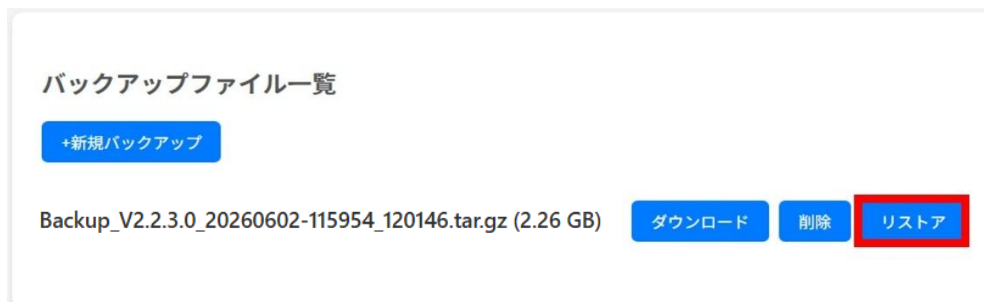
## 5.2.5 リストアを実行する

リストア実行時は、アプライアンスサーバおよびクライアントマシンを閉域環境下で使用することを推奨します。

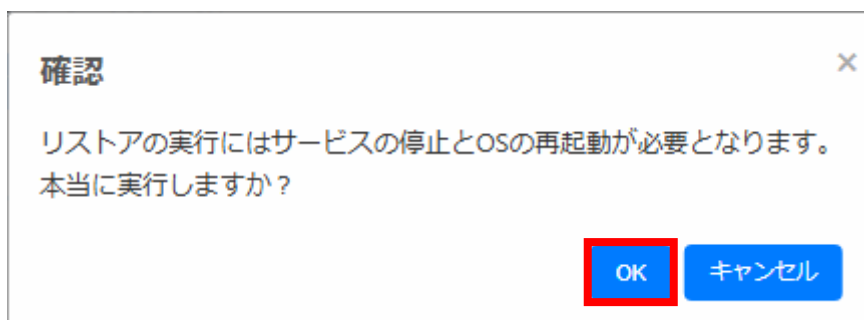
1. リストア実行前に、対象ファイルのバージョン情報と、メンテナンス GUI の下部に表示されている Generative AI FW のバージョン番号が完全に一致していることを必ず確認してください。



2. バックアップファイル一覧情報から、対象ファイルのリストア実行ボタンを押下します。



3. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。  
※リストア実行中は、サービスが停止します



- 
4. リストアが開始すると、バックアップ・リストア状態表示に「リストア実行中」と表示されます。  
(完了目安:15分)
  5. リストアの実行が完了すると、バックアップ状態に「リストア実行終了(OS再起動の待機中)」と表示されアプライアンスサーバ OS の再起動のボタンが表示されるので押下します。



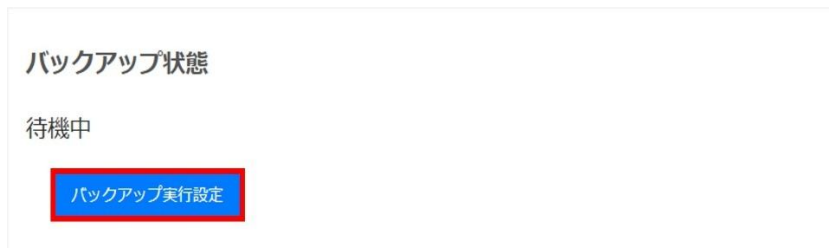
再起動時は画面接続が切断されるため、10分後を目安にログイン画面に再接続してください。

## 5.3 バックアップ実行設定

あらかじめ「5.1 ログイン」を参照してログインを行った状態で、本手順を実施してください。

### 5.3.1 バックアップファイル保持数を設定する

1. バックアップ実行設定ボタンを押下します。



2. バックアップ実行設定画面が表示されるので、バックアップファイル保持数の値を任意に指定します。デフォルトでは以下の設定が指定されています。



設定項目	設定内容	デフォルト設定
バックアップファイル保持数設定	アプライアンスサーバ内に保持するバックアップファイルの個数を設定します。	9



### 設定時の注意事項

保持数を設定する際は、バックアップファイルのサイズとアプライアンスサーバの空き容量を確認してください。設定前に「5.2.1 新規にバックアップを実行する」を参照して一度テストバックアップを行うことを推奨します。その結果と空き容量を基に、保持可能なバックアップファイルの個数を計算した上で、適切な保持数を設定してください。

---

3. 値を設定したら決定ボタンを押下します。

バックアップ実行設定

バックアップファイル保持数 9 ↓ 個

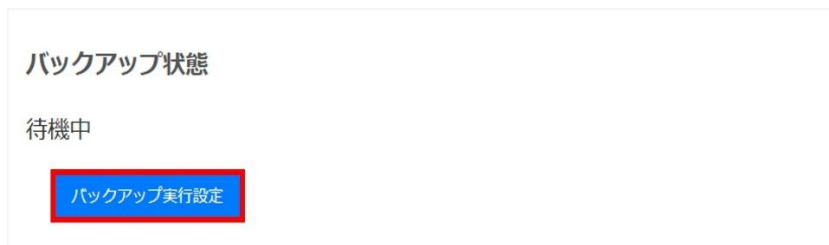
月に1回実行する

実行日 1 ↓ 日

決定 キャンセル

## 5.3.2 バックアップの定期実行を設定する

1. バックアップ実行設定ボタンを押下します。



2. バックアップ実行設定画面が表示されるので、任意に指定します。デフォルトでは以下の設定が指定されています。



■ 定期実行設定

設定項目	設定内容	デフォルト設定
定期実行設定	バックアップの定期実行を ON/OFF で設定します。 ※ON に設定した場合、定期バックアップ実行中は、サービスが停止します	OFF
実行時間 ※定期実行を ON にした場合	バックアップを実行する時刻を設定します。ただし、一部機能が実行中の場合、定期実行は行われません。詳しくは以下をご確認ください。 ■ 「8.2.1 バックアップ」	00:30

■ 定期バックアップの実行間隔の設定（定期実行設定が ON の場合のみ）

設定項目	設定内容	デフォルト設定
実行間隔	定期実行を実施する頻度を設定します。 「1日に1回実行する」「曜日ごとに実行する」「月に1回実行する」から選択可能です。	1日に1回実行する
実行曜日 （「曜日ごとに実行する」選択時）	実行する曜日を月曜から日曜まで複数選択できます。	選択なし
実行日 （「月に1回実行する」選択時）	実行する日付を 1～31 の中から単一選択できます。 ※該当日が存在しない月はバックアップがスキップされます。（例：2月30日、4月31日など）	1

3. 値を設定したら決定ボタンを押下します。

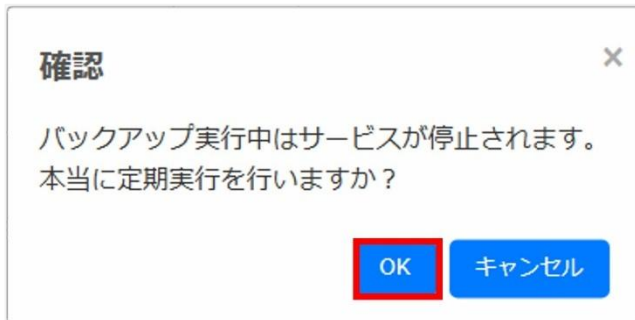
バックアップ実行設定

月に1回実行する

実行日 1 日

決定 キャンセル

- 
4. 定期実行を ON にした場合、ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。



5. 定期実行を ON にした場合、次のバックアップ実行予定日時が表示されます。



#### 定期実行運用中の注意事項

- サーバ空き容量の確認  
定期実行を利用する際は、アプライアンスサーバの空き容量に十分ご注意ください。空き容量が不足すると、定期バックアップが正常に実行されない場合があります。バックアップファイルの保持数の設定を行って、適切に定期実行を運用してください。
- バックアップファイルの保持管理  
Generative AI FW の運用中に、バックアップファイルのサイズは増大する可能性があります。このため、定期的な保持数の見直しを行うことを推奨します。

バックアップファイルの保持数の設定は以下を参照してください。

「5.3.1 バックアップファイル保持数を設定する」

---

---

## 5.4 メンテナンスツール

あらかじめ「5.1 ログイン」を参照してログインを行った状態で、サイドバーからメンテナンスツールを選択して、本手順を実施してください。

### 5.4.1 メンテナンスファイルを実行する

1. メンテナンスファイルアップロードから、「ファイルを選択」ボタンを押下します。



2. エクスプローラーが開くので、適用したいメンテナンスファイルを選択します。
3. 2で選択したファイルが表示されていることを確認して、アップロードボタンを押下します。  
※メンテナンス GUI はログイン後 24 時間で自動的に切断されます。この時間内にアップロードが完了していない場合、エラーが発生しますのでご注意ください。



4. アップロードが完了すると、ファイル展開状態表示に「ファイルのアップロードが完了しました」と表示されます。表示されたファイルを確認して展開ボタンを押下します。  
※誤ったファイルをアップロードした場合は、ファイル削除ボタンを押下して 1.からやり直してください。



5. メンテナンスファイルの展開中は「ファイルの展開中です」と表示されます。

6. ファイル展開が完了すると、メンテナンスファイルの実行に必要なパラメータに対応する数の入力欄が表示されます。表示された入力欄に従って必要な値を入力した後、実行ボタンを押下します。  
なお、「\* (赤いアスタリスク)」が付いている項目は必ず入力してください。

### メンテナンス実行

 **NGAS\_mainte\_upgrade\_vX.X.X.tar.gz**

本ツールはGenerative AI FWのアップデートを行うツールです。

---

以下のパラメータを指定して実行してください。

**keycloak パスワード \***

7. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。

### 確認

×

ファイルを本当に実行しますか？

8. 実行が完了するとファイル実行状態表示に「ファイルの実行が完了しました」と表示されます。
- 実行ログが出力されるメンテナンスファイルの場合、「実行ログ取得」ボタンが表示されます。  
押下すると、実行スクリプトのログをクライアントマシンのローカルにダウンロードします。

ファイルの実行が完了しました。(実行完了日時：2025年09月05日 02:38:06)

#### 実行ステータス

```
2025-09-05 02:38:01 [INFO] データ処理を実行中
2025-09-05 02:38:06 [INFO] データ処理が完了しました
2025-09-05 02:38:06 [INFO] アップデート完了
2025-09-05 02:38:06 Process completed. returncode=0
```

---

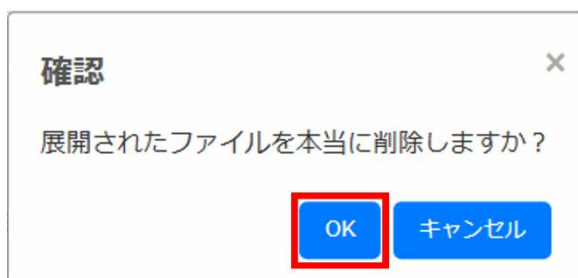
## 5.4.2 展開したファイルを削除する

本手順を実行した場合、実行ログが存在する場合は併せて削除されます。ログを保持しておきたい場合は、あらかじめ「実行ログ取得」ボタンを押下してログを保存してから本手順を実施してください。

1. メンテナンスファイル削除から、削除ボタンを押下します。



2. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。



3. アプライアンスサーバ内からアップロードしたメンテナンスファイル及び展開されたファイルが削除されます。

---

## 5.5 サーバ管理

あらかじめ「5.1 ログイン」を参照してログインを行った状態で、サイドバーからサーバ管理を選択して、本手順を実施してください。

1. 電源操作を実行するには、電源操作確認のチェックボックスにチェックを入れます。  
※この操作により、電源操作が可能になります。他の処理が実行中の場合も強制的に実行されることに十分注意してください。同意する場合のみ、チェックを入れてください。

### 電源操作

アプライアンスサーバの電源操作を行います  
他の処理が実行中の場合も電源操作は強制的に実行されます

シャットダウン      再起動

強制的に電源操作が行われることを理解しました。

2. 電源操作を行うボタンを押下します。

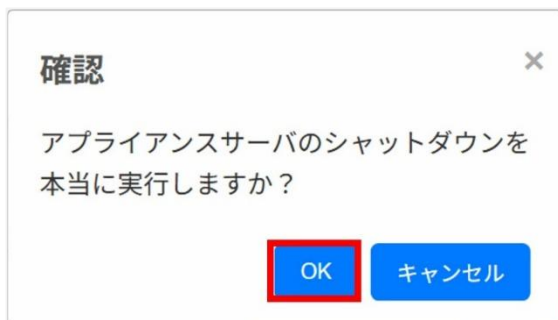
### 電源操作

アプライアンスサーバの電源操作を行います  
他の処理が実行中の場合も電源操作は強制的に実行されます

シャットダウン      再起動

強制的に電源操作が行われることを理解しました。

- 
3. ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンを押下します。※画面はシャットダウン時のものです。



4. 押下したボタンの処理が実行されます。

---

## 5.6 ログアウト

設定バックアップ画面または、メンテナンスツール画面右上のログアウトボタンを押下するとログアウトします。

NEC Generative AI Appliance Server

administrator

ログアウト

---

## 6 諸元

メンテナンス GUI の諸元について記載します。

### 6.1 バックアップ対象の設定一覧

取得したバックアップファイルは、以下の設定情報が含まれます。

#### 6.1.1 アプライアンスサーバの設定情報

設定項目	参照ガイド
ネットワーク設定（ホスト名、IP アドレス）	NEC Generative AI Appliance Server 初期設定ガイド 「ネットワーク設定」
時刻同期設定	NEC Generative AI Appliance Server 初期設定ガイド 「時刻同期設定」
管理者ユーザのユーザ名(administrator)、パスワード	セットアップガイド 「管理者ユーザのパスワード変更」
ソフトウェア RAS の設定情報	ソフトウェア RAS ツール（Linux 版）取扱説明書 「4. 使用方法」

## 6.1.2 Generative AI FWの設定情報

### ■ セットアップ時の設定

設定項目	参照ガイド
閉域化設定	セットアップガイド 「閉域化対応」
アクセス先情報（ドメイン名・HTTPS 証明書・ポート番号）	運用ガイド 「アクセス先・HTTPS 証明書の更新」
Keycloak パスワード	セットアップガイド 「Keycloak の初期パスワードの変更」
Proxy 設定	セットアップガイド 「proxy、証明書対応」
拡張対話機能のセットアップ設定	セットアップガイド 「拡張対話（Web 検索）機能のセットアップ」
API キー情報	管理ポータル操作ガイド (設定画面編)
カスタム認証設定	カスタム認証セットアップガイド
図表文脈理解オプションのライセンス状態	図表文脈理解機能ライセンス有効化手順書 図表文脈理解ガイド 「4.2. 図表文脈理解オプションのライセンス有効化」

■ 運用時の設定

設定項目	参照ガイド
管理ポータルに登録したユーザの登録情報	管理ポータル操作ガイド (ユーザ登録編)
インデックスの登録情報、インデックス内に登録した文書	管理ポータル操作ガイド (インデックス・文書管理編)
ユーザテンプレートの登録情報	管理ポータル操作ガイド (テンプレート機能編)
グループの登録情報	管理ポータル操作ガイド (グループ機能編)
アプリケーションログの保存設定	運用ガイド 「ログの設定変更」
監査ログ、監査ログの保存設定	運用ガイド 「監査ログ」
会話履歴、会話履歴の最大保存期間	運用ガイド 「会話履歴の最大保存期間を変更したい」
MongoDB のメモリ使用量設定	運用ガイド 「MongoDB のメモリ使用量の変更」
LLM のトークン数上限	運用ガイド 「LLM のトークン数上限を変更する」
図表文脈理解の起動・停止状態	図表文脈理解機能の起動・停止手順書
	図表文脈理解ガイド 「5.4. 図表文脈理解機能の起動・停止」

### 6.1.3 メンテナンスGUIの設定情報

設定項目	参照ガイド
バックアップ実行設定	本書 「5.3 バックアップ実行設定」
ポート番号の設定情報(ポート番号、ファイアウォールの設定)	本書 「9.1 ポート番号を変更する」

---

## 6.2 バックアップファイル仕様

### ■ ファイルの上限数

アプライアンスサーバ内で保存できるバックアップファイル数は、「バックアップファイル保持数」の設定に従います。(最大 9 個) 設定数を超過した場合は、ファイル名の取得日時が古いものから削除されます。取得日時はファイル名の YYYYMMDD-HHMMSS の数値を確認してください。

### ■ ファイルのサイズ上限

バックアップファイル 1 つのサイズ上限は 256GB です。

### ■ ファイル名規則

バックアップファイル名は、以下の形式です。ファイル名を変更すると正常にリストアできない場合があるため、変更しないでください。

形式 : Backup\_VX.X.X.X\_YYYYMMDD-HHMMSS\_HHMMSS.tar.gz

- VX.X.X.X : Generative AI FW バージョン情報およびパッチ情報
- YYYYMMDD-HHMMSS : バックアップ作成の取得日時
- HHMMSS : バックアップ作成の終了時刻

【例】2025年6月5日午後1時0分0秒から午後1時15分0秒に作成された場合

Backup\_V X.X.X.X\_20250605-130000\_131500.tar.gz

※Xには実際の Generative AI FW のバージョン情報およびパッチ情報が含まれます

---

## 6.3 バックアップ・リストア状態表示一覧

設定バックアップ画面に 5 種類の実行状況が表示されます。各実行状況の内容は以下の通りです。

実行状況	内容
待機中	バックアップ、またはリストアの待機中に表示されます。 前回バックアップ、またはリストアを実行していた場合は、「待機中」の表記の下に前回完了日時が表示されます。
バックアップ実行中	バックアップの実行中に表示され、「バックアップ実行中」の表記の下にバックアップ開始日時が表示されます。
リストア実行中	リストアの実行中に表示されます。
リストア実行終了(再起動待機中)	リストアの実行が終了して、再起動の待機中に表示されます。
ファイルアップロード中	ファイルのアップロード中に表示されます。

---

## 6.4 メンテナンスファイル仕様

- ファイルの上限数

アプライアンスサーバにアップロードできるメンテナンスファイルの上限数は1個です。

- ファイル名規則

メンテナンスファイル名は『NGAS\_mainte\_xxxxxxx.tar.gz』形式です。『xxxxxxx』は24文字以内の半角英数字、記号[.][\_]で構成されます。ファイル名を変更すると正常に実行できない場合があるため、変更しないでください。

## 6.5 メンテナンスツール状態表示

実行状況	内容
ファイルのアップロード中です。	メンテナンスファイルアップロード中に表示されます。
ファイルの展開中です。	メンテナンスファイルを展開中に表示されます。
ファイルの実行中です。	メンテナンスファイルを実行中に表示されます。
ファイルの実行が完了しました。	ファイルに実行が完了した場合に表示されます。

---

## 7 メッセージリファレンス一覧

各画面で対処が必要なメッセージを記載します。

### 7.1 ログイン画面

#### ■ ログイン時

メッセージ	対処法
ユーザ認証に失敗しました	誤ったパスワードを入力している可能性があります。パスワードをご確認のうえ、再度ログインしてください。
<b>administrator</b> でログインしてください	メンテナンス GUI はアプライアンスサーバの <b>administrator</b> ユーザのみログインが可能です。 <b>administrator</b> ユーザでログインしてください。

## 7.2 設定バックアップ画面

### ■ 設定バックアップ画面操作時

メッセージ	対処法
他の処理を実行中です	他の処理を実行中のため、一時的に機能が使用できません。時間をおいてから操作を実行してください。
サーバの空き容量が不足しています	バックアップを作成する場合は <b>256GB</b> 、バックアップファイルをアップロードする場合は「 <b>256GB+</b> アップロードするファイルの容量」の空きがアプライアンスサーバのルートパーティションに必要です。画面右上のサーバ空き容量表示から空き容量を確認してください。
リストア後は <b>OS</b> 再起動が必要です	アプライアンスサーバの <b>OS</b> 再起動が必要となるため、一時的に機能が使用できません。 <b>OS</b> 再起動後に操作を実行してください。

### ■ バックアップ実行時

バックアップ実行時の固有メッセージを記載します。

メッセージ	対処法
バックアップ実行に失敗しました	バックアップを再度実行してください。エラーが継続する場合は、サポートまでお問い合わせください。

### ■ バックアップファイルアップロード実行時

バックアップファイルアップロード時の固有メッセージを記載します。

メッセージ	対処法
ファイル名が不正です	ファイル名を変更していた場合は、元のファイル名に戻してください。 バックアップファイル名の形式は以下を参照してください。 ■ 「6.2バックアップファイル仕様」
保管できるバックアップファイルの個数が上限に達しています	アプライアンスサーバ内で保持できるバックアップファイルの個数が上限に達しています。アプライアンスサーバ内のバックアップファイルを削除するか、バックアップファイル保持数を変更してください。

---

■ リストア実行時

リストア実行時の固有メッセージを記載します。

メッセージ	対処法
リストア実行に失敗しました	リストアを再度実行してください。エラーが継続する場合は、サポートまでお問い合わせください。

## 7.3 メンテナンスツール画面

### ■ メンテナンスツール操作時

メッセージ	対処法
他の処理を実行中です	他の処理を実行中のため、一時的に機能が使用できません。時間をおいてから操作を実行してください。
サーバの空き容量が不足しています	メンテナンスファイルをアップロード、または展開・実行する際は、アプライアンスサーバのルートパーティションに十分な空き容量が必要になります。画面右上のサーバ空き容量表示を確認してください。
ファイル名が不正です	ファイル名に不正な文字列が使用されています。正常なファイル名のメンテナンスファイルをご使用ください。
不正なファイルを使用しています	ファイルの署名情報が不正です。正常なメンテナンスファイルをご使用ください。
既にメンテナンスファイルが存在します	既にメンテナンスファイルが存在する、またはアップロードされているため、実行した操作ができません。メンテナンスファイルを削除してから操作してください。
別のメンテナンスファイルがアップロードされています	
既にメンテナンスファイルが展開されています	既に展開したメンテナンスファイルが存在するため、実行した操作ができません。以下を参照して展開済みファイルを削除してから操作してください。 ■ 「5.4.2 展開したファイルを削除する」
メンテナンスファイルが存在しません	メンテナンスファイルが存在しないため、実行した操作ができません。以下を参照して、初めから操作を行ってください。 ■ 「5.4.1 メンテナンスファイルを実行する」
想定しないエラーが発生しました サポートまでご連絡ください	このメッセージが表示された場合は、サポートまでご連絡ください。

---

■ メンテナンスファイル実行時

メンテナンスファイル実行時の固有メッセージを記載します。

メッセージ	対処法
メンテナンス実行開始に失敗しました	ファイルの実行時にエラーが表示された場合は、サポートまでお問い合わせください。「実行ログ取得」ボタンが表示されている場合は、押下して事前にログを取得しておくことを推奨します。

■ ファイル実行ログ取得時

ファイル実行ログ取得時の固有メッセージを記載します。

メッセージ	対処法
ログファイルが存在しません	ログファイルが正常に出力されませんでした。新規にログを取得する場合は再度メンテナンスファイルを実行してください。

---

## 7.4 サーバ管理画面

### ■ 電源操作時

メッセージ	対処法
電源操作の実行に失敗しました	このメッセージが表示された場合は、サポートまでご連絡ください。

---

## 8 注意事項

メンテナンス GUI の注意事項について記載します。

### 8.1 メンテナンスGUI共通項目

- メンテナンス GUI への接続は 1 端末のみで行ってください。複数端末からの同時接続は推奨していません。
- メンテナンス GUI のセッションはログイン後 24 時間で自動的に切断されます。

### 8.2 設定バックアップ

#### 8.2.1 バックアップ・定期バックアップ

- バックアップファイルは定期的に取得・安全に保管してください。
- バックアップファイルは設定の保持数に達すると古いファイルから自動的に削除されます。
- バックアップファイルのファイル名を変更すると正常にリストアできない場合があるため、変更しないでください。
- アプライアンスサーバ内の空き容量によっては、バックアップファイルの取得やアップロードが制限される場合があります。
- 新規にバックアップを作成する場合は 256GB、バックアップファイルをアップロードする場合は「256GB+アップロードするファイルの容量」の空きがアプライアンスサーバのルートパーティションに必要です。画面右上のサーバ空き容量表示から空き容量を確認してください。
- バックアップ実行中、バックアップファイル削除中、バックアップファイルアップロード中は一部の操作が制限されます。
- 以下の機能が実行中の場合、定期実行は行われません。
  - 手動バックアップ実行
  - リストア実行
  - メンテナンスファイルの実行
  - バックアップファイルアップロード
  - メンテナンスファイルアップロード
  - メンテナンスファイルの展開

---

## 8.2.2 リストア

- リストア実行時は、アプライアンスサーバおよびクライアントマシンを閉域環境下で使用することを推奨します。
- リストア実行中は一部の操作が制限されます。
- リストア実行中に設定バックアップ画面がブラウザのエラー画面に切り替わった場合、アプライアンスサーバが停止したことによりリストアが正常に完了していない可能性があります。その場合、再度リストア操作をやり直してください。
- 工場出荷時の環境（クリアインストールした環境）にリストアした場合、SSH ホスト鍵は再作成されるため、リストア後の初回 SSH 接続時に警告が表示される可能性があります。
- 工場出荷時の環境（クリアインストールした環境）にリストアした場合、`~/.ssh/authorized_keys` はリストアされません。公開鍵認証を利用する場合は、リストア後に公開鍵を再登録してください。

---

## 8.3 メンテナンスツール

- メンテナンスファイルのファイル名を変更すると正常に実行できない場合があるため、変更しないでください。
- ファイルをアップロードまたは展開・実行する場合は、アプライアンスサーバのルートパーティションに十分な空き容量が必要です。画面右上のサーバ空き容量表示から空き容量を確認してください。
- メンテナンスファイルアップロード中、メンテナンスファイル展開中、メンテナンスファイル実行中は一部の操作が制限されます。
- メンテナンスファイルの実行に失敗した場合は、サポートまでお問い合わせください。「実行ログ取得」ボタンが表示されている場合は、押下して事前にログを取得しておくことを推奨します。

## 8.4 サーバ管理

- 電源操作は、他の処理が実行中の場合も強制的に行われます。操作の際は、十分に注意して実行してください。

---

## 9 参考

### 9.1 ポート番号を変更する

メンテナンス GUI で使用するポート番号を変更する場合は、以下の手順を実施します。

1. アプライアンスサーバにコンソールでログインします。
2. `/opt/nec/backup_restore/setting.env` を vi コマンドなど、任意のエディタで開きます。

```
$ sudo vi /opt/nec/backup_restore/setting.env
```

3. PORT の値を任意に変更して上書き保存します。

```
...(略)
PORT="20531"
...(略)
```

4. 必要に応じてアプライアンスサーバのファイアウォールの設定を変更します。

- 変更前のポート番号のファイアウォールの設定を削除します。

```
例:変更前のポート番号が 20531 の場合
```

```
$ sudo firewall-cmd --remove-port=20531/tcp --zone=public --permanent
```

- 変更後のポート番号をファイアウォールの設定に追加します。

```
例:ポート番号を 20532 に変更する場合
```

```
$ sudo firewall-cmd --add-port=20532/tcp --zone=public --permanent
```

- ファイアウォールの設定を更新します。以下のコマンドを実行して「**success**」と表示されることを確認してください。

```
$ sudo firewall-cmd --reload
success
```

5. 以下のコマンドを実行して、`ngas_gui` サービスを再起動します。

```
$ sudo systemctl restart ngas_gui.service
```